



## CONTENTS

- 一般質問
- 平成30年度決算審議
- 各常任委員会
- 条例改正
- 編集後記

## 令和元年ひかり保育園運動会

令和元年4月1日に開園された「ひかり保育園」での記念すべき第一回目の運動会が、9月14日に開催されました。好天に恵まれ、元気いっぱい駆け回る子どもたちを見ることができました。

# SDGsへの取り組みについて ～誰一人取り残さない社会の実現を～



江頭義彦 議員

**政策課長** SDGsというメガネを通して、政策や施策を立てていくことだと思っている

**議員** 2015年、国連に加盟していた193の国で、貧困のない、持続可能な世界を次世代に受け継いでいくことを目指し「誰一人取り残さない」とを国連加盟国首脳が誓った世界規模の目標で9月の国連総会で採択された。飢餓の廃絶、地球環境の保全、質の高い教育の確保、国内と国家間の平等の是正など17の目標とその下の169項目のターゲットから構成され、国際社会が協力して2030年までに達成を目指す「持続可能な開発目標」である。SDGsの取り組みについて本町の考えは。

**政策課長** SDGsに即して事業を実施していくというよりも、政策を立てたり、施策を行っていくときに、どういった目的をもって

**議員** 各課の取り組みやるのか、SDGsに掲げられた17の目標、169のターゲットを意識していくということであり、言い換えればSDGsというメガネを通して物事を見ていくことになる。

**政策課長** 現在、町では第5次総合計画を策定しており、この基本理念に基づいて、施策を講じている。

**議員** 今後の推進については。

## 持続可能な開発目標 (SDGs) の詳細



ロゴ：国連広報センター作成

日本自身の課題に関係が深い目標の例 ⇒実施には、多くの国内省庁が関係。  
 ●成長・雇用 ●クリーンエネルギー ●イノベーション ●循環型社会(3R: Reduce Reuse Recycle 等)  
 ●温暖化対策 ●生物多様性の保全 ●女性の活躍 ●児童虐待の撲滅 ●国際協力 等

は、すでに総合計画の中にSDGsのマークを入れている。周知の意味で言えば、計画の中に入れていく方法もあるが、今の時点では具体的な手立ては考えていない。

**高年齢者への「安全運転サポート車」の購入支援は**

**総務課長** まずは、交通マナーの改善に全力で取り組んでいく

**議員** 交通事故による死亡事故件数は、近年減少傾向であるものの、死亡事故全体に占める高齢運転者による死亡事故の割合は年々増加傾向にある。悲惨な重大事故が多発していることもあり、高齢運転者による交通事故は今や社会問題として大きく注目されている。今後、高齢運転者が急速に増加していく中、高齢運転者による事故の防

止と自動車の運転に不安を感じる高齢者の移動手段の確保の両立を図ることは喫緊の課題である。本町の高齢者への交通安全対策の取り組みは。

**総務課長** 高齢者運転免許証自主返納事業を実施している。老人会等での交通講話。反射材の配付。高齢者の交通安全自転車大会。交通安全協会の取組み等。

**議員** 安全運転サポート車の購入支援は。

**総務課長** まずは、交通マナーの改善に全力で取り組んでいく。事故の増加の場合は県に要望したい。

**議員** 返納者へのタクシーチケットの増額と100円券の発行は。

**町長** あくまでも6千円。自主返納の制度はきつかけづくりであって背中を押す事業である。

かねまるゆうき  
金丸祐樹

議員



## AED（自動体外式除細動器）の設置及び 訓練・講習について

町長 早い段階で検証し、実施に移したい

**議員** 町が管理している各施設のAEDの設置状況および訓練・講習状況を確認したい。

**総務課長** 町では役場・ネイブル・老人福祉センターの3ヶ所に設置をしている。教育委員会の設置は、幼児教育センター・小学校・中学校・うるるの4ヶ所で計7ヶ所。

庁舎のほうは、B&G体育館で年一回普通救命講習会を新規採用職員と若手職員に参加をさせており、幼児教育センターの職員やネイブルについても同講習会に参加をさせ、夏期のプールの監視員にも全員参加で受けさせている。うるるは、年一回消防署職員から講習を受けていると聞いている。

小学校は全職員対象で実施されており、中学校は全校生徒の前で保健体育委員による

実演を年一回実施。

老人福祉センターの社協職員は、平成28年度にAEDの操作の講習を全員受けている。

**議員** 日本での心臓突然死は年齢を問わず年間7万人が命を落とされている。平成30年の総務省のデータでは、その救命には迅速な心肺蘇生と電気ショックが有効で、電気ショックが二分遅れるごとに救命率、蘇生率が10%ずつ低下していくとされる。AEDによる救命措置は蘇生率が7倍になるといふこと。B&G体育館やプール、さわやかスポーツセンターには設置がされていないが、今後の状況を聞きたい。

**こども教育課長** それらの箇所については今後設置に向けて検討していきたい。

**議員** プールについては、現在社協からAEDを借りしている状況。設置されていない他スポーツ施設においてもスポーツの最中は心臓にショックを受けることが多い。早急に設置をお願いしたい。

また、実施訓練、講習を役場の課長も年一回は受けていただきたい。実際の現場に遭遇した場合、きちんと実技講習を受けていても使用に不安がある。実際のAED使用率についても心肺停止の数から見ると全体の5%に満たない。学校現場でも社会体育の監督・コーチや保護者の代表にもその訓練講習をやっていたきたい。

**総務課長** 各課長の訓練については、課長に諮って参加する方向で検討したい。

**こども教育課長** 学校での講習会開催時にP

TA、育友会にも声をかけて講習を受けていただければと思っている。また、各施設を利用されるスポーツクラブ団体についてもAEDの取り扱い講習会の機会を設け周知できればと考えている。

**町長** 国でAED適正配置に関するガイドラインが策定されており、これにのっとりて既存施設にとどまらず、全庁的にハード設置については洗い出しをしたい。また、宝の持ち腐れになってはいけないので、町民皆さん、たくさんの方が気負い

なく操作ができる状況を作ることが必要だと思う。講習のやりかた、呼びかけについては、早い段階で検証し実施に移したい。ぜひ議員の皆様も参加をしていただければと思う。

**議員** 他市町に視察に行った際、屋外設置型のAEDがあった。校舎の外、運動場等での有事の際迅速に対応できるようにとの配慮。また、スポーツ施設や学校体育館においてもAEDが設置されていた。その場所にAEDが無かったら命を落としかねない。

運が良  
い悪いでは  
済まされ  
る問題で  
はないので  
早急な検  
討、対応  
をお願い  
する。



屋外に設置されたAED

# 山田町政1期目の公約について、 その検証及び総括は



井上敏文 議員

**町長** 駅北口開発は官民共同で情報を交換し、整備を図りたい

**議員** 山田町長の一期目の任期が終わろうとしている。1期で公約について検証及び総括をする時が来ているのではないかと思う。この公約についてこれまでどのように取り組まれてきたか。またこれをどう総括するのか。まだ達成できていないと思われる項目について質問する。まず、「高校生の医療費無料化」と「延長保育の拡大（7時～20時まで）」の公約について現在どのようになっているのか。

**町長** 高校生までの医療費無料化はまだ出来ていない。財源等も含め実施した場合の試算はしている。また、延長保育については、20時までのニーズがあるのか情報収集しながら実施すべきと思う。

**議員** 4番目の企業誘致で正規雇用100人分を創り出

す。また、1万人署名運動でJR特急の全便停車とある。これまでの取り組み状況と今後の展望は。

**町長** 企業誘致については、町内企業の佐賀プラントが岩屋団地跡地に移転新築し、また、江北ひかり保育園、小規模保育所なのはなの2園が開園した。更に、6次産業として製造加工販売をされている方もあり、町内の雇用は計られたと思う。1万



肥前山口駅北口の現状

人署名は、駅弁復活、観光列車の歓迎イベント、駅利用のパークアンドライドの実証事業等により山口駅の認知度を上げ、その機運が醸成したところで署名運動を考えていきたい。

**議員** ふるさと納税で町の収入5億円増とある。近年、高価な返礼品などで過熱気味になっており、総務省は返礼品の法的規制を強化している。我が町においてこのふるさと

納税、今後どのように推移していくと思われるか。

**町長** この3年間は5億円を超えているが、今後は不透明である。このふるさと納税の収入が無くても給食費の無料化は続けていけると考えている。

**議員** 駅北口開発で町の玄関口の賑わい復活とあるが、これまでど

**町長** 体育施設の集約に併せ考えていく

## ナイター設備の復活を

**町長** 体育施設の集約に併せ考えていく

のように取り組んできたのか。また、町長が考える駅北口の構想は。

**町長** まず、安全確保の観点から駅東の県道整備の歩道設置は再来年に工事予定である。それができれば駅北口の風景も変わってくると思う。駅北口の開発については官民共同で情報交換をしながら整備を図っていきたい。

**議員** 4年後、佐賀国民スポーツ大会（国体）のソフトボール競技女子の部が花山球場で開催される。これを機にナイター施設の復活の考えは。

**こども教育課長** 花山球場のナイターの支柱は耐用年数が切れており、撤去改修等で相当の改修費用がかかる。

**議員** 夏場の軽スポーツ行事は日中暑くて出

来ない。夜の涼しい時にナイターを利用してスポーツができれば町民の健康増進にも繋がる。長期的な視点に立ち、花山球場以外には考えられないのか。

**町長** ナイター施設があつた方がいいとなれば体育施設の集約の検討とも併せ、ナイター施設も考えていかなければならない。

坂井正隆  
議員



## 来年2月の町長選挙に再度出馬する 強い意志があるのか、意思表明を

**町長** 江北町の新しい時代を生き抜くための基礎づくり  
大変重要な時期に改めて身をささげる所存である

**議員** 山田町政が誕生して4年を経過しようとしている。選挙公約の中で江北町の新時代を開く未来政策として、5つの公約を掲げ、見事当選された。

**議員** 先ず1番目の公約、子育て教育ダントツについて、給食費完全無料化、高校生までの医療費無料化、延長保育の拡大、ママ友百人会議、その中で、不妊治療の助成拡大、小児科医療の365日化等々あるが、これらについて実施している案件と、その実績、について問う。

**福祉課長** 不妊治療の助成は佐賀県が実施しており、町は、それに乗せした事業として実施している。29年度からは凍結胚移植、人工授精、男性不妊治療をしており27年度からの4年間で314万円ほどかかっている。

小児時間外医療については、3市4町で実施、地区の医師会に委託して、時間は19時から21時、平成29年度から365日対応して頂いている。

**議員** 2番目の公約、健康、福祉日本一の町について、健康ポイント制度で町民の寿命を1歳延ばすところがあるが。

**福祉課長** この事業は平成29年度から実施。最初は694人から始まり、現在1180人の登録があり、この人数は町民の20歳以上の15%を占めている。今後、本人の自主的な健康づくりの取り組みが、習慣化に繋がっていくような施策の検討をしていければと思う。

**町長** 元気で長生きというのは、町民みんなの望みであり、ぜひ町としても後押しをしたいということで始めた事業であるが福祉



高確率な「くじ」であり、大変効果があった。最終的には、1歳といわず皆さんが健康で長生きということが実現出来ればと思う。

**議員** 健康ポイント事業の効果は。

**福祉課長** 町の国保特別会計において、前年比の医療費の約1800万円減になっている。

**議員** 3番目の公約、岩屋住宅跡地の活用について、駅南で施工されたように、町内不動産会社の協力のもと、宅地分譲地にどうか。

**町長** 確かにあそこは非常に眺めがよく、もともと町営住宅があったところで、跡地の利

活用については、さまざまな処分の仕方というものは町として考えてしかるべきだと思っている。

**議員** 端的に聞くと、町長、来年2月に予定されている町長選挙に出馬する強い意志があるのかどうか意思をここで伺う。

**町長** 江北町の人口は変わっていないけれどもそのなかの様相がだいぶ違ってきている。都市化と、過疎化と相反する様なことが同時に進行しているのがわが町である。これからの4年間というのはさらに大事な4年間であるという風に思っている。私としては、微力ではあるが、ぜひその4年間にまた身をささげたい気持ちである。

**議員** 来年2月の町長選挙に再度挑戦するというところで確認が出来た。

三吉紀美子

議員



## パノラマ孔園の改善を願う

**建設課長** 園内道路は通常一般車両は通行禁止であるが、道具を運搬する際に注意を促す看板で喚起したい

**議員** 今回の豪雨で被害を受けられた方に心より御見舞い申し上げます。一日も早い復興を祈り質問に移る。青少年育成として機会ある度にパノラマ孔園を利用して、入口、孔園内の車道の危険を感じている。又、石の組合せの階段で危なく感じた。数カ所足元灯の設置は出来ないか。宿舎に薄いマット常備は出来ないものか。

**建設課長** 園内道路は管理作業車と、キャンプ道具運搬車以外は通行禁止となっている。通行する上で危険があれば、看板等で注意喚起を促していく。

中央部の既存の石段は詳細な設計に基づき造られている。改修となれば踏み幅、段差との変更が伴うので現状で理解を願いたい。石段部分には照明灯を設置している。宿舎のマッ

トは管理衛生面を考慮して常備していない。基本的には個人持込みで願いたい。

**副町長** 階段そのものが石で注意をして上る階段になっている。石が外れたり、利用者、指定管理者が特に危ないと思う所は、すべしなればと思っている。

**教育長** 子どもを育てる環境は色々あってしかるべきと思っている。

**議員** 保育園児もいたし、大人の目線で公的施設としてやれる所までお願いしたいが。

**町長** 課長が答弁した非日常の自然との触れ合い、自然の恩恵を感じる為の施設なので答弁した者を支持する。

**議員** 何回か使い不便だと感じた事の改善策は考えられないか。

**町長** SDGsの視点も必要と思うが不便さもある意味体験する施設でもあるのでそついで

う不便さも体験して貰うという事だと思つう。

**議員** 婦人会の青少年問題としてあつてよかつたと思う貢献度としてマットを寄付して受け取って頂けるか。

**建設課長** ダニとかカビ等の衛生面で問題があると思うので寄付は受付られない。



狭い園内道路

### 豪雨時の六角川浸水被害対策のための調整池早期完了

**議員** 佐賀新聞に武雄市汐見橋上流部に350〜450万トンの洪水調整池整備の方針が公表された。町に於て六角川水系の未来を考える住民意見交換会で30年を目

途との計画説明会がなされたと聞いたが、わが町には六角川水系に関係する懸案問題があり、そのついで大西地区の長崎本線下流の堤防問題、又牛津川との合流点におけるバックウォーター現象が考えられる。大西地区問題に関しては長い間議論されて今だ解決策が見出せていない。

**牛津川問題** に関しては多久市の牟田部に95万トンの遊水地が完成し効果は上がっている。懸案問題解決策として、具体的に確認がされているのは現時点洪水調整池であると考ええる。課題は多くあると思うが20年、30年と言わず一年でも早く早期に完成するよう国土交通省へ要望の考え方はないのか。

**建設課長** 六角川改修期成同盟会により整備促進要望活動を毎

年行っている。

**議員** 隣町と連携して前々吉岡町長と同じ姿勢で進めていく決意は。

**町長** 4年前にしている。国、整備局、関係機関にも行き議論も、六角川減災協議会まで開かれている。これから歩みを緩めない。

### 大雨警報発令に伴う要援護者避難状況について問う

**総務課長** 7月の台風では山間部の9地区で250名中2名、8月の台風8号では9地区で1名、8月末の豪雨時山間地10地区及び牛津川地域5地区で355人中13名避難。9月以降に地区を選定し、防災研修を実施していく。

# 水道事業の今後は



池田和幸

議員

**町長** 単独経営よりも統合経営が、持続可能な水道の供給基盤を確立するための全体構想にあった広域化をする

**議員** 市町村が運営する水道事業の経営基盤を強化する目的で水道法の改正がなされ、コンセッション方式を用いた水道民営化が容易になった。そこで広域連携の推進についての考えは。

**環境課長** 事業統合協議の際に、積極的な広域連携が早期に実行されるような体制づくりを求めている。

**議員** 適切な資産管理の推進は。

**環境課長** 水道施設の維持及び修繕、台帳作成、計画的な更新、収支の見通し作成及び公表を示し、令和2年度の佐賀西部広域水道事業の事業統合に引き継ぐよう協議している。

**議員** 多様な民間連携の推進は。

**環境課長** 佐賀西部広域水道事業との安定的な事業運営を目指す

よう検討している。

**議員** コンセッション方式は、公共施設の所有権を国や自治体が保有した時、長期間の民間事業者売却する民営化手法ですが、このことについての考えは。

**環境課長** 来年度予定している事業統合後、時期を見て考えていく。

**町長** 来年度に統合した後、次なるビジョンとしてまた、統合のメ



水道事業を来年4月から始める佐賀西部広域水道企業団 (佐賀市久保田町)

リットが出た時点で検証を行い、更なる効率化の選択肢の一つと思っている。

**議員** 町の統合後の資産規模は。

**環境課長** 平成30年度決算での資産合計は17億1千524万9千965円。

**議員** 統合前の老朽管更新工事は。

**環境課長** 老朽管更新工事で4件、新設管布設工事で6件です。

**議員** 水道料金の適正化は図れるのか。

**環境課長** 令和2年度事業統合後3年間は現行料金を継続し、給水原価等の適正化を図りながら段階的に統一料金へ移行す

ると計画されている。

**議員** 技術職員の採用は。

**町長** これから難しくなってくることから、知識や経験を集約するために統合する。

**議員** 統合を進める我が町のビジョンは。

**環境課長** 経営基盤強化のため広域化を進めることが必要で、持続可能な水道の供給基盤を確立するための全体構想に沿ったビジョンである。また浄水場などの施設の共同設置、保守点検業務などの施設管理の共同化、水質検査や情報システム等の管理の一本化など地域の実情に応じた広域化が望ましいと考える。

## 下水道事業の現状と課題

**町長** 令和5年度までに企業会計への移行を検討していく

**議員** 町の特定環境保全公共下水道事業は、平成14年度の供用開始から17年目を迎えているが、公営企業会計適用に向けた検討と広域化や民間活用への推進の検討は。

**環境課長** 総務大臣通達で人口3万人未満の自治体は令和5年までに移行するよう通達があり、今後広域化協議会等の創設が予定される作業部会で課題解決のため具体的な検討を進めている。民間活用は、包括的民間委託の導入の検討を進めていく。

**議員** これからの個別の整備、普及は。

**町長** 下水道接続のメリットは伝えていくが、メンテナンスや維持管理の効率化を図ることが信頼度の向上につながり、職員の負担軽減にもつながると思うので、早急な検討をしていく。

## 町長の政治姿勢について



村上正昭  
議員

**町長** これからの江北町を考えたときに、大変大事な時期を迎えているので、次の4年間にもまた身をささげたい

**議員** 町長就任3年半を、町長自らどのような総括されているのか。  
**町長** 佐賀県庁に16年、武雄市役所には8年勤務をし、県庁では知事に比較的近い部署で仕事をした。  
また、市役所では、市長のそばで市政に携わってきたので、首長の仕事については自分なりに分かっていたつもりであったが、実際なってみると、町長の仕事は本当に幅広く、必ずしも役場にいる間だけが町長の仕事ではなく、24時間365日、町のことが頭から離れる瞬間は1秒たりともなかったというのが実感である。  
選挙公約については、全てができてはいないので、大変じくじたるものがあるが、これからの江北町を考えた場合、大変大事な時期を迎えているので、次の

4年間にもまた身をささげたい。

**議員** 町長と職員との距離が少し縮まったように感じるが。

**町長** 私は少し焦がりですので、うまくやってくれないときにはいろいろもするし、それをぶつけたこともあるが、この3年半という時間、空間をととも共有したという厳然たる事実の中で、同じ苦しみを味わったり、共に苦労したり、ともにぶつかり合うことで共有意識が生まれてきていると思います。

**議員** 職員に厳しいと言われる方もおられるが、厳しいのは私ではなくて、町民の皆さんが厳しいと、時代が厳しいと、それが私が体現しているというふうな思ってください。少しは私自身に対する風当たりは減るのではないかと思わなくはない。

**議員** 今後のまちづくりの基本的な考えは。

**町長** 江北町のいろいろな歴史、また、特性を踏まえた上で、現在都市化と過疎化が一度に進行しているのので、二項対立をなくし、全体としての一体感を出していく必要があるの

で、今後は更にそれを具体化していく必要がある。  
**議員** 二期目に出馬するに当たり、公約的なものは。

**町長** 融和と対話と経営は、私自身の方針であるので、引き続き進めていきたい。その上で持続性と多様性と自主性というものを基本に置いた公約を作成できればと思っている。

**議員** 豪雨等により浸水被害が発生した際に活動する救命ボート等との連携による救助活動のほか、取り残された住民等への食料などの物資搬送を行うため、水上バイクを所有する民間の方たちとの協定や覚書を結ぶ考えは。

**町長** 協力していただく方には防災に関する研修会等に参加するなどして、気持ちと意識を一つにし、また、同じルールの中で活動し、それがきちんと組織化されるといことが条件と考える。そのことをご理解いただいた上で、前に進めばいいと思っております。

### 災害時における水上バイクの活用について

**町長** 質問の契機となった方たちと条件も含め、理解をいただいた上で、前に進めばいいと思っております。

**議員** 豪雨等により



水上バイク（前）



水上バイク（後）

# 一般会計及び特別会計歳入歳出決算審議

特別委員会において審議の結果、平成30年度決算を全員賛成で認定

## 一般会計決算

### 歳入

**問** 徴収率がアップしている要因は。

**町民課長** 県滞納整理機構との連携および税務係の臨戸徴収などによるものと思われま

**問** 外国青年指導員の宿舎借上げ料は。

**政策課長** A・L・Tの宿舎は町でも負担しているが、借上げ料は個人からの徴収分です。

### 歳出

**問** 庁舎内の相談室設置による利用内容は。

**総務課行政係長** 8月に設置をし、328回の利用があり、福祉課での相談使用は176回で約53%である。

**問** 防犯灯LED化は。

**総務課行政係長** 78基を実施し、今年度要望の127件で今年度60基、来年度67基を

予定。

**問** 各区独自のハザードマップの作製は。

**総務課長** 災害が起こった場合の避難経路等のマップを作る事業をしている。今年は3地区を予定している。

**問** 犯罪被害者等見舞金40万円が不用額になっているが。

**総務課行政係長** 本人が亡くなられた場合に遺族に30万円、1カ月以上の加療が必要な場合に障害見舞金として10万円の給付を条例で規定しているが、申請があていない。

**問** 路線バス運行補助事業の生活交通路線運行費補助金650万円で、バスの利用者は。

**政策課長代理** 江北町で乗車する方は年間9千人、下車する方は年間1万4千人です。全体の約9割が山口駅前

**問** 防災ネットあんの加入者は。

**総務課防災管理係長** 582人で、少しずつ増えている。

**問** 町所有の救命ボートを貸出ししているが、消防の団員も一緒か。

**総務課長** 大町町に2艇貸出しし、その災害対策本部の広域消防の方が使用され、団員はボートには従事していない。



町所有の救命ボート

**政策課企画情報係長**

各課長の認証のもとに、すぐにホームページに掲載できるような体制を整えている。

**問** 老人福祉センターの指定管理委託料275万円で、昨年より使用件数や利用者数は2千人を超えているが。

**福祉課長代理** 指定管理料の主なもの、光熱水道費及び委託料で、人件費は法人運営事業費の中で補助している。

**問** 公害対策費の委託料の水質検査が説明にないが。

**環境課長** 政策課と協議して、今回は塵芥処理費の説明を掲載している。

**町長** 水質検査の目的とか、具体的な効果等において検証すべき時期に来ていると思うので、来年度の予

**問** ホームページ改修業務委託料469万2千円の改修内容は。

算編成に反映させる。

**問** 狂犬病予防事業で、対象頭数と接種件数は。

**環境課主幹** 登録頭数は549頭、接種件数は321件です。

**問** 予防接種を受けていない犬もいるのでは。

**環境課主幹** 200頭位は受けていない。登録しているところには全て案内をしているが、注射時に老犬や子犬とかは先生の指導でされない事もある。

**問** 狂犬病の発生状況については。

**環境課長** 日本国内では、1956年を最後に発生がない。

**問** 集落営農法人育成加速化対策事業で、事務用品等の購入の内容は。

**産業課長** 法人化をした法人に対して、登録が済んで1年以内に県からの補助があり、

ハード面とソフト面と最大35万ずつの合計70万円の補助が受けられる。ソフトは事務用品、ハードは事務所を建てたり、機械を購入する補助です。

**問** 町道駅南地区東西線についての説明は。

**建設課長** 税務署との協議が遅れた。早目に取らかり、計画的に事業に取り組みたい。

**問** 議会での説明は。



11月の開園予定のみんなの公園

**副町長** 対応が悪かった。今後、指導していきたい。

**町長** 予定から大分ずれが生じるものは報告したい。事業全体について進行管理をきちんとしたい。

**問** みんなの公園の進捗状況は。

**建設課長代理** 工期内に間に合うように準備を進めている。

**問** 農村公園の遊具の撤去について不具合は。

**建設課耕地係長** 機能の判定を行い。区と協議しながら進めている。

**問** いつ行っても使えるようにできないか。

**建設課長** 遊具の撤去については、区長さんと協議して決定した。



古くなった遊具（おつかれさまです！）

は毎年実施してほしい。

**建設課長** 毎年するか、2年に1回するか検討したい。

**問** 国道34号建設促進期成会の現状は。

**建設課長代理** 江北町、大町町、武雄市の1市2町で要望

活動を行っている。魚市場前の観音下交差点以西区間の4車線化を要望している。

**町長** 34号関連では、他に江北町以東の佐賀地区の建設合同期成会にも加入している。

**問** 新町区の通学路交通安全対策事業は。

**建設課土木建築係長** 側溝整備、なんり前の水路整備を完了予定して

いる。

**問** 六角川改修期成同盟会負担金とは。

**建設課長** 六角川と牛津川合同で同盟会を結成されている。多久、小城、武雄、大町、江北、白石で負担金を出している。

**問** 期成会の要望書の資料は。

**建設課長** 素案ができ

ている。配付したい。

**問** 保育士業務委託料減額の理由は。

**こども教育課長代理** 4月当初、保育士の2名と延長保育の1名の不在分。

**問** 保育士を早目に確保してほしい。

**教育長** つてを生かして探していきたい。  
**町長** 保育士確保の



求む保育士！ あなたの力が必要です！！



成果が試されるコミュニティ・スクール

キャンペーンを計画している。

**問** コミュニティ・スクールの成果は。

**教育長** 協議会を五回、学校運営協議会二回実施した。会議に出席された方が所属団体に説明していただくことで理解が深まると期待している。

**問** 不用額が135万2千108円出ているが。

**子ども教育課長** 原稿

の執筆が遅れた。

**問** うるるの利用者が減っているのは。

**子ども教育課長代理** 一般来館の未満児が減っている。

**問** 小・中学校の臨時職員の時給は。

**教育長** 資格、職務内容によって違っている。

**問** 放課後児童クラブの人員は。

**子ども教育課長代理** 小学校1年生と4、5年生でうるるの2教室。

小学校2年生が1クラス、3年生が1クラス小学校を利用して1クラス30名程度。

**問** コウモリの飛来は。

**幼児教育センター副所長** 格段に少なくなった。

**問** 鍵の取替については。

**子ども教育課長** 維持管理費で対応したい。

**特別会計決算**

**無資力臨鉢ポンプ**

**問** 鳴江排水施設の稼働時間が29年度は少ない時間であったが、30年度との違いは。

**建設課長** 稼働時間は44時間です。昨年度から大雨の予想が出た際に、地元の方と連携して早めに水を落とすことで稼働時間が減ったと考えている。

**問** 各施設の更新時期がきているが、より早い排水能力を持つポンプや排水量を変え

る等のことを町で変えられるのか。

**町長** 最近の雨量等も含め、果たして当時の計画のままでも今後も耐えられるのか、是非かんがい排水委員会で議論をお願いする。

**国民健康保険**

**問** とくとくキャンペーンの今後の見通しは。

**福祉課長** 受診率を上げるために工夫をしている。国が求める60%を目指して、来年度も率を上げていきたい。

**問** 人間ドックと脳ドックの受診者の数と補助の上限は。

**福祉課長代理** 人間ドックが14件、脳ドックが69件で、両ドック共2万5千円の上限です。

**後期高齢者医療**

**問** 受診率が29年度とすると下がっているが。

**福祉課長** 受診対象者のうち生活習慣病にかかっている方、定期的に治療している方、長期入院をされている方には、通知を出さないうえに、集団でも人数は上がっており、個別健診もあがるので29年度並みに上がる。

賞	賞品	当選者数
1等	10,000円分の商品券	10名
2等	5,000円分の商品券	10名
3等	3,000円分の商品券	10名
4等	1,000円分の商品券	10名

定期的な健診を受けて、商品券をゲット!!

度と31年度の2年間で50%ずつの進捗を図っている。

**問** 新規加入者が前年度より28戸減少している要因は。

**環境課長代理** 住宅等で落ち着いた状況になってきた。

**下水道事業**

**問** 補助金は終了していると思うが。

**環境課長** 消費税が5%から8%になった時に3%分を還元する接続推進補助金の事業は終了しているが、今後の事は検討の材料としている。

**問** 分担金の収入未済額の725万4千円の内訳は。

**環境課長代理** 公共下水道の分で、1期地区で14件、2期地区で16件、3期地区で57件、合計87件です。

総務常任委員会

一般会計補正予算

**問** 長崎本線沿線地域振興事業費補助金(県)の、人の流れを生み出す地域の魅力づくりに交通利便性向上に係る調査・研究の視察先は。

**福祉課長代理** 薩摩おれんじ鉄道及び周辺地域団体への視察研修である。補助金は、ひふみ通り振興会に直接交付される。

**政策課長** 地域の活性化が図られているのであれば視察の価値はある。

**問** 肥前山口駅利用促進(パークアンドライド)実証実験事業とは。

**政策課長代理** 一か月分のネイブル駐



車券と鉄道運賃の回数券を給付し、肥前山口駅の利用促進と自家用車から鉄道への交通手段の転換(パークアンドライド)を推進する事業。県内20人、県外8人のモニターに対しアンケート調査を行い実用化に向けての問題点を検証する。

**問** 障害児の地域生活支援事業は何名増の予定か。

**福祉課福祉係長** 就労

者の増加ではなく、常時利用の延べ人数の増である。

**問** 国保連合の取りまとめはどこか。

**福祉課長代理** 佐賀市の国保会館内にある。

**問** 修繕費の予算断なくとは何の修繕をするのか。

**こども教育課長代理** 洗米機、スライサー刃研磨、食洗機、消耗品の修繕等。また、一学期末にガス管に穴があき緊急的に修繕及び点検をした。

**成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化等を図るための関係条例の整備に関する条例について**

**総務課長** 本町においても整備法の形式になり、「江北町職員の給与に関する

条例」及び「江北町消防団員の定員、任免、給与服務等に関する条例」の一括改正を行うものである。

**総務課行政係長** 消防

団員の欠格事項として成年被後見人又は被補佐人ということなどで、一律に排除されているが、一律排除するのではなく消防団員としての能力を勘案して決定する。

**江北町税条例等の一部を改正する条例について**

**町民課長** 個人住民税の非課税措置の対象に児童扶養手当の支給を受けていて、前年の所得が135万円以下のひとり親を対象に追加する。

軽自動車税の環境性能割の税率を1%軽減する。

軽自動車の税率を軽減する「グリーン化特例制度」を2年延長

する。

資本金1億円以上の法人に対して、災害や通信障害等の理由により納税申告書を電子的に提出することが困難であると認められる場合、書面により提出できる。

所得税の施行日が令和2年1月1日。12月に年末調整をする。2月、3月の確定申告で税額が決まる。住民税は令和3年の1月1日から申告等で住民税を確定する。

**問** グリーン化の特例制度の延長は。

**町民課長** 2年間延長。電気自動車と天然ガス、規制が一番厳しい分をクリアした分は、さらに2年間延長となる。ただ、自動車を取得した最初の1年間のみである。

**江北町印鑑条例の一部を改正する条例について**

**町民課長代理** 住民票に旧氏を記載することが可能になったことから、印鑑登録及び印鑑登録証明書にも旧氏を記載できるようにした。

**幼児教育・保育の無償化の取組を図るための関係条例の一部を改正する条例について**

**こども教育課長** 幼稚園、保育所、認定子ども園などを利用する3歳児から5歳児までのすべての子どもの利用料が無料になる。0歳から2歳までの子どもについては、住民税非課税世帯を対象として利用料が無料になる。

**問** 副食代について保護者に説明したか。

**こども教育課長** 8月末までに各園で保護者説明会を実施した。

産業常任委員会

江北大町一般会計補正予算(第4号)について

公民館費

**問** 平山地区生活館斜面对策事業だが、工事はいつから始めるのか、また、補助事業はなかったのか。

**建設課長** 10月に工事前の地元説明会を予定しており、その後に入札を行いたい。工事はそれ以降になる。該当する事業はなかった。

平山地区生活館斜面



江北大町下水道事業特別会計補正予算(第2号)について

下水道管理費

**問** クリーンセンターからの臭いについて、警戒を強めてもらいたいが。

**環境課長** 脱臭装置については、ストックマネジメント事業などで改善を図ればと考えている。臭気については、今後さらに検討していきたい。



江北大町クリーンセンター

江北大町みんなの公園の設置及び管理に関する条例について

**問** みんなの公園はカフェも含む施設となるがその利用について設置条例の中に謳わなっていないのか。

**建設課長代理** 条例第6条(開園時間等及び休刊日)の中で、公

園施設の開園時間等及び休刊日は、規則で定めるとしている。規則は現在作成中であるが、交流棟についても定めている。

**問** 次年度の指定管理委託料は年間1,700万円程度になると思われる、その算定根拠は。

**建設課長代理** 昨年9月に指定管理予定者の募集をして、同年11月に2社応募があった中から、プロポーザルを実施している。そのプロポーザルの際に積算された経費をベースに算定している。

**問** カフェの厨房設備は町で購入するのか。故障や破損もその都度町で対応するのか。

**建設課長代理** 厨房設備等の備品は町で購入。軽微な破損は指定管理者で対応してもらい、経年に伴う破損は町で対応する。

長崎県小値賀町夜間議会視察

令和元年7月18日から7月19日にかけて、両委員会の合同視察研修を長崎県小値賀町で行った。

小値賀町では、平成24年に初の夜間議会が実施され、住民参加型のまさに開かれた議会をそのまま実施されているという印象をもった。夜間議会の特徴として、傍聴席の方が直接、町長や議員に質問ができる模擬公聴会を設けられており、また、出前型の青空議会や、学生を対象とした模擬議会なども開催するなど住民の意見を町政に取り組み強い姿勢が感じられた。



小値賀町議会議員との意見交換会



傍聴席から質問する住民

条例改正

一、江北大町みんなの公園の設置及び管理に関する条例

一、成年後見人等の権利の制限に関わる措置の適正化を図るための関係条例の整備に関する条例

一、江北大町税条例等の一部を改正する条例

一、江北大町印鑑条例の一部を改正する条例

一、幼児教育・保育無償化の取組みを図るための関係条例の一部を改正する条例

(全会一致で採択)

請願

一、新たな過疎対策法の制定に関する意見書等の提出について

一、地方財政の充実・強化を求める意見書採択に関する陳情書の提出について

(全会一致で採択)

# なつかしか祭 in 五坑



令和元年9月29日ネ  
イブルで「なつかしか  
祭in五坑」が開催され  
ました。  
オープニングでは、  
大町町の子どもたちの  
勇壮な聖太鼓で始ま  
り、式典等が行われま  
した。  
記念イベントでは、  
来場の皆さんで炭坑節  
を踊る等会場も賑わい  
ました。  
展示ブースでは、炭  
坑絵師の山本作兵衛翁  
の作品や炭坑写真展、  
当時、使用されていた  
ミゼットや農具等の展  
示がありました。  
この「なつかしか祭  
in五坑」は上小田地区  
の区長さん方が中心と  
なり企画されたもので  
す。町民の皆様や近隣  
の市町、福岡県田川市  
(炭鉱の町)の協力を  
得て開催されました。  
江北町の炭鉱の歴史と  
文化に触れ、心に残る  
杵島炭鉱閉山50周年記  
念事となりました。

## 編集後記

7月まで雨が少なかったが8月には突然の大雨により佐賀県の間には突如の大雨により最高雨量が更新された。異常気象といえここ数年毎年の様に日本の何処かで災害が起きています。毎年我々の想像を超えてくる自然災害。冬に台風が上陸する事も想定しとかなくはないのではないのでしょうか。

今回の大雨に関し実際に私も危機感を感じていたものの「まだよかる」と心の奥で思っていた。結局自分は危機感を感じてはなかったのだと今回の佐賀豪雨で更に考えさせられた。

9月になり近隣市町も含め江北町も様々なイベントが中止されたが、災害にあわれた方々や市町を元気にするよう力を合わせてがんばっていききたい。

『江北町がんばろう！』  
(石津)

### 広報研修委員

委員長	三苦 紀美子
副委員長	池田 和幸
	江頭 義彦
	石津 圭太
	金丸 祐樹